

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	香川県		2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	獅子舞王国さぬき総合推進事業			【計画の改善時期】	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度				
5 実施計画の概要					
本県では、平成23年度より「せとうち田園都市香川創造プラン」（「新・せとうち田園都市創造計画」の前の基本方針）を策定し、文化芸術を担う人材の育成や特色ある文化芸術活動を生かした地域づくりを図ってきた。 また、引き続き、香川県「新・せとうち田園都市創造計画」（平成27年度策定）や香川県文化芸術振興計画（平成25年度策定）を踏まえ、地域固有の文化や文化遺産の保存・継承や、個性豊かな文化芸術の振興を図り、地域の活性化を推進しているところである。そこで、本事業を通じて、本県の代表的な文化資源である讃岐獅子舞等の振興を図るため、効果的な活用、情報発信、その保存・継承に努めることで、前記創造計画の基本方針である「笑顔で暮らせる香川」の実現を目指す。 ※「新・せとうち田園都市創造計画」は、 URL (http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/sogokeikaku/index.shtml) を参照					
6 実施体制					
本実施計画に係る全体の企画調整及び文化財に関する指導等は、以下の担当課が行う。 〔香川県政策部 文化芸術局 文化振興課〕全体企画調整等 〔香川県教育委員会事務局 生涯学習・文化財課 文化財グループ〕文化財の取扱等に関する指導等 また、補助事業は次の団体が実施する。 〔獅子舞王国さぬき実行委員会(本部・東讃支局・高松支局・西讃支局)〕					
7 実施計画における目標と期待される効果				別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 0 千円		平成30年度申請額： 15,218 千円	
		(2) 実施事業の概要 別紙②のとおり			
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）					
地域の市民はもとより県民が、文化遺産に対する関心を深め、県民共有の貴重な財産として守り続けていく大切さを理解するとともに、地域で受け継がれてきた伝統芸能を正確に後世に保存・継承されることが期待できる。また、本事業を主体的に実施する構成団体は、日頃より伝統芸能の啓蒙に努めるだけでなく、高い伝統技術と指導力を保持しており、「瀬戸内国際芸術祭」や「第41回全国育樹祭」ではオープニングアトラクションを務める等、県内での影響力は大きなものとなっている。一方で、地域に根差した任意団体であるため、他からの補助もなく、経済的に自立困難な状況であるが、本事業を通じて、文化遺産である讃岐獅子舞等の復活及び普及が見込め、永続的な活動が期待できる。 本事業を通じて、総合的な讃岐獅子舞等の保存・継承、普及活動に努め、本県が掲げる「文化芸術による地域の活性化」に繋げる。					
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）					
事業概要：					
事業概要：					
事業概要：					
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等					
現段階で「歴史文化基本構想」及び「歴史的風致維持向上計画」の計画の見込みはない。					
12 担当部局					
地方公共団体 担当部局課	香川県政策部 文化芸術局 文化振興課				

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	讃岐獅子舞保存会全会員数	関連事業:	①③④⑤⑥⑦⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮		
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 900 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 1,100 人				
設定根拠 1 :	人口減少の影響、廃止獅子組の復興を考慮				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 2 :	讃岐獅子舞保存会全団体数	関連事業:	①③④⑤⑥⑦⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮		
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 64 組 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 90 組				
設定根拠 2 :	人口減少の影響、廃止獅子組の復興を考慮				
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
組	組	組	組	組	組
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 3 :	県政調査「文化芸術による地域活性化の重要度」	関連事業:	①②③④⑤⑥⑦		
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 15.4 % ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 15.4 %				
設定根拠 3 :	平成26～29年度の平均伸び率-4.3%を踏まえ現状維持を設定 ※算定は県内在住の満18歳以上の男女3,000人、毎年6～7月に調査（選挙人名簿層化二段無作為抽出・郵送法） ※有効回収数（H29年度：1722人、H28年度：1639人、H27年度：1576人、H26年度：1522人） ※5段階評価のうち「とても重要である」の回答のみ				
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
%	%	%	%	%	%
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 4 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 4 :	県政調査「文化芸術による地域活性化の満足度」	関連事業:	①②③④⑤⑥⑧		
目標値 4 :	【現状値】 平成 29 年度 1.6 % ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 1.9 %				
設定根拠 4 :	平成26～29年度の平均伸び率30.7%を踏まえ設定 ※算定は県内在住の満18歳以上の男女3,000人、毎年6～7月に調査（選挙人名簿層化二段無作為抽出・郵送法） ※有効回収数（H29年度：1722人、H28年度：1639人、H27年度：1576人、H26年度：1522人） ※5段階評価のうち「とても満足している」の回答のみ				
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
%	%	%	%	%	%

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①： 伝統芸能情報発信事業		実施団体： 獅子舞王国さぬき実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	香川県の代表的な文化資源である讃岐獅子舞の普及促進を目的にホームページを作成し情報発信を行う。ただし、平成30年度に関しては補助対象外となったため、事業としては実施しないが、実行委員会の内部で費用をかけずに簡易なウェブページを作成し、各文化財を閲覧できるように他ホームページへのリンクを貼り付ける等、情報発信が可能な形を整えることとする。				
評価指標区分：	・ ホームページ閲覧数（PV数）		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	「獅子舞王国さぬき」ホームページ（仮称）閲覧数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 120,000 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
事業②： 香川県文化遺産ガイド養成事業（仮称）		実施団体： 獅子舞王国さぬき実行委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	観光客を対象とした各地域の文化財（讃岐獅子舞）のガイドを養成する学習会を行う。本事業終了後は観光客を対象としたガイドとして活動を行う予定としている。ただし、平成30年度に関しては補助対象外となったため本事業は実施しない。平成31年度以降の実施については随時検討することとする。				
評価指標区分：	・ ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	香川県文化遺産ボランティアガイド育成講座修了者がボランティアガイドを実践				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 20 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
事業③： 古典の日制定記念 獅子舞王国さぬき開催事業（仮称）		実施団体： 獅子舞王国さぬき実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	県内の多種多様な獅子舞が一同に会し演舞を披露する。地域に根差した伝統芸能が地域の枠を超えて一斉に集まり、披露することは国内でも例がなく、過去の開催では全国から多くの専門家が集まった。これまでは有志での実施であったが、記録事業でその様子を映像で残したり、専門家（東京文化財研究所や歴史民俗資料館の学芸員等を予定）を交え他の地域の文化遺産活用の成功事例を学ぶ機会とし、学術的に価値の高い内容へと発展させる。				
評価指標区分：	・ フェスティバル出演団体の保存会会員数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	讃岐獅子舞保存会会員数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 900 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 1,100 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人

事業④：文化遺産シンポジウム事業		実施団体：獅子舞王国さぬき実行委員会	
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	県内の文化遺産の現状（現存する文化遺産や保存会の団体数、断絶した文化遺産の活用方法等）について意見交換を行う。講師は専門家（東京文化財研究所や歴史民俗資料館の学芸員等を予定）を招聘し、文化財の効果的な活用等について意見を頂く。地域保存会の代表者と現状を振り返り、今後の在り方（保存方法や継承等）について議論する。		
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 社 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 50 社		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
社	社	社	社
事業⑤：伝統芸能モニターツアー事業		実施団体：獅子舞王国さぬき実行委員会	
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	県内の伝統芸能モニターツアーを行いアンケートを集計。モニターが行う観光地の情報収集方法など、地域づくりに活用できる方法を検証する。検証結果を基に、伝統芸能情報発信事業で作成する解説書、香川県文化遺産ガイド養成事業のガイド養成の資料として活用する。ツアーに際しては、資格が必要となるもの以外、企画立案等は実行委員会で行う。ただし、平成30年度に関しては補助対象外となったため本事業は実施しない。平成31年度以降の実施については随時検討することとする。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	Facebookファンページのファン数		
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 898 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 2,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
人	人	人	人
事業⑥：伝統芸能記録作成事業		実施団体：獅子舞王国さぬき実行委員会	
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	古典の日制定記念獅子舞王国さぬき開催事業で行った讃岐獅子舞の一斉演舞を映像に記録したり、各地域の伝統芸能や用いる道具の様子を映像として記録する。編集後に教材用（伝承版）、啓蒙用（普及版）として活用する。普及版はYouTube等のSNS等を活用し広く一般に公開する。		
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	記録映像年間貸出数		
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 1,000 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
回	回	回	回

事業⑦： 伝統芸能後継者養成事業		実施団体： 獅子舞王国さぬき実行委員会			
事業区分：	後継者養成		事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度	
事業概要：	各地域毎の伝統芸能団体（獅子舞保存会）の後継者となるべく若い世代を対象とした養成講座を行う。総会など団体が一堂に会する機会等も利用しながら、5年間で64の構成団体全てに対して行う。なお講座にあたり、記録作成事業で作成した伝承版DVDで作成した動画を活用する。また普及版を用いて、これまで交流のなかった地域とも連携を図り、会の活性化を推進、後継者の意識向上に努める。				
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	讃岐獅子舞保存会会員数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 900 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 1,100 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
事業⑧： 観光客向け伝統芸能解説書作成事業		実施団体： 獅子舞王国さぬき実行委員会			
事業区分：	その他		事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
事業概要：	本県に訪れる観光客9,368千人（平成28年1～12月）に向けた文化財解説書A5判小冊子を5,000冊作成する（1冊内で日本語・英語・中国語の多言語表記）。解説書の作成においては、有識者（東京文化財研究所や歴史民俗資料館の学芸員を予定）を招いた会議を開催し、学術的な意見をもとに作成する。また「瀬戸内国際芸術祭」の開催（平成31年度）を踏まえ、観光客を誘引する視点に立った内容とし、同芸術祭の獅子舞行事において配布を行う。				
評価指標区分：	・ その他			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	県外海外からのFacebookページファン数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 500 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
事業⑨： 大野石清水八幡神社秋季例大祭 祭事道具整備事業		実施団体： 臼井獅子組			
事業区分：	用具等整備		事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度	
事業概要：	高松市大野町を拠点に置く臼井獅子組では、大野石清水八幡神社・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。				
評価指標区分：	・ 保存会への新規入会者数			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	讃岐獅子舞保存会への新規入会者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑩：		白鳥神社秋季例大祭 祭事道具整備事業			実施団体：		芝居町獅子保存会		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：		東かがわ市湊を拠点に置く芝居町保存会では、白鳥神社・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。							
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
人	人	人	人	人	人			人	

事業⑪：		春日神社秋季例大祭 祭事道具整備事業			実施団体：		庄獅子組		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：		丸亀市川西町を拠点に置く庄獅子組では、春日神社・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。							
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
人	人	人	人	人	人			人	

事業⑫：		造田八幡宮秋季例大祭 祭事道具整備事業			実施団体：		中組獅子保存会		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：		さぬき市造田に拠点を置く中組獅子保存会では、造田八幡宮・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。							
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度				
人	人	人	人	人	人			人	

事業⑬：	田中雷八幡神社秋季例大祭 祭事道具整備事業				実施団体：	朝倉獅子連				
事業区分：		用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：		木田郡三木町に拠点を置く朝倉獅子連では、田中雷八幡神社、朝倉春日神社で執り行われている秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。								
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数								
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人								
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度					
人	人	人	人	人	人				人	

事業⑭：	水主神社秋季例大祭 祭事道具整備事業				実施団体：	落合芸能保存会				
事業区分：		用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：		東かがわ市町田に拠点を置く落合芸能保存会では、水主神社・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する祭事用具の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。								
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数								
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人								
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度					
人	人	人	人	人	人				人	

事業⑮：	廣旗神社秋季例大祭 祭事道具整備事業				実施団体：	西上円座獅子組				
事業区分：		用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：		高松市円座町に拠点を置く西上円座獅子組では、廣旗神社・秋季例大祭の獅子舞奉納で使用する太鼓の修理を行う。修理した用具は秋季例大祭において継続して使用するとともに、後継者養成事業において実演のため活用する。								
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		讃岐獅子舞保存会への新規入会者数								
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 200 人								
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度					
人	人	人	人	人	人				人	